



2026年3月30日

各 位

会 社 名 株式会社環境管理センター
代表者名 代表取締役社長 水落 憲吾
(コード番号:4657 東証スタンダード市場)

AIを用いたアスベスト計測支援システムの開発

当社は、国立研究開発法人国立環境研究所（以下「国立環境研究所」）と日本エヌ・ユー・エス株式会社（以下「JANUS」）との共同研究チームにて、位相差顕微鏡法（PCM法）によるアスベスト繊維の計数作業を支援するAIシステムを開発し、本日、国立環境研究所よりプレスリリースいたしましたことをごお知らせいたします。

1. 開発の概要

現在、大気中へのアスベスト繊維放出の主な原因は、石綿含有建材を含む建築物の解体・除去作業です。日本では、大気汚染防止法により解体・除去工事におけるアスベスト飛散防止を目的とした作業基準が定められていますが、不適切な作業に伴う漏洩事故は依然として発生しています。今後解体建築物が増加することで漏洩監視の件数も増えると予想予測されるため、熟練分析者の不足や育成にかかる時間的制約、分析者の1日当たりの分析可能時間の制約から、空气中アスベスト繊維数濃度の迅速測定法が求められています。

そこで、当社、国立環境研究所、JANUSの3者で構成される研究チームは、位相差顕微鏡（PCM）画像中の繊維検出に人工知能（AI）を適用することで、熟練分析者と同等の精度と分析時間で計数できる支援システムの必要性があると考えました。本研究で開発した「メコラス」は、実際の大气試料の位相差顕微鏡（PCM）画像を対象として、AIモデルと画像処理を用いた自動検出システムであり、国際標準化機構（ISO: International Organization for Standardization）やASTM International（ASTM、旧称: American Society for Testing and Materials）、英国安全衛生庁（HSE: Health and Safety Executive）などの国際的な標準化機関・安全衛生機関においてもアスベスト計数へのAI活用が検討されつつある世界的な潮流の中で、国内において初の製品となるアスベスト計測支援システムです。

開発内容の詳細につきましては、下記の国立環境研究所のプレスリリースをご参照ください。

<国立環境研究所プレスリリース>

<https://www.nies.go.jp/whatsnew/20260330/20260330.html>

<メコラスの紹介ページ（JANUS）>

https://www.janus.co.jp/markets/safety-and-disaster/ai_asbestos

2. 業績に与える影響

現時点において当期業績への影響は軽微ですが、本開発の成果はエキスパート分析者が行う繊維検出・計数作業を自動化し、迅速な漏洩監視と分析業務の効率化に寄与するものと考えております。この開発の上市により業績に影響を及ぼす事象が判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

問合せ先 経営企画室 山下 浩二
電話 042 - 673 - 0500